

# 人吉市こども王国保安官

市町村名 人吉市  
活動開始 平成 18 年 8 月～  
参加人数 約 600 名 (平成 25 年 2 月現在)



## 活動を始めた きっかけ

“子どもが輝き、まちが輝く”、子どもに着目した人吉市のまちづくり構想「こども王国ひとよし基本構想」の中に“子どもたちをやさしく見守るまちづくり”という、子どもたちを皆で見守る考えがあります。

その一環として、平成 17 年 12 月に東間校区の老人クラブ 164 人をお願いし、モデル的な取り組みを開始。平成 18 年 8 月には、人吉市全小学校区 (6 校区) での活動として発足しました。

小学校の児童をはじめ、中学生の登下校の際の安全を確保することを目的に、老人クラブ等に所属し、児童・生徒の登下校等の時間帯に見守り活動ができる人が市教育委員会にボランティアとして登録され、「保安官」として活動しています。

## 主な 活動内容

### あいさつ運動

### 不審者の通報

不審者を見つけた場合は、特徴を把握したうえで速やかに警察に通報する。

### 日常生活の中での見守り

散歩や屋外活動など、日常の生活リズムの中でも無理をしない範囲内で、各人が見守り活動を行っています。



### 子供達の見守り活動

児童・生徒の朝夕の登下校等の時間帯に、見守り活動を実施しています。

交差点などで、交通安全に関する指導等も併せて行っています。



## 活動の ポイント

### 👉 進めるポイント

活動基本は「無理しない範囲で行うこと」。自主性に任せており、立ち番を輪番制で行っている老人クラブもあれば、自宅近くの横断歩道で個々に、交通安全の指導を通して見守り活動をしている人もいます。自分の孫のような気持ちで接し、地域子どもたちとの交流を深める機会にもなるよう、「保安官」が積極的に活動に取り組んでいます。

事故だけではなく、「絶対に事件を起こさない！」という意識で、子どもたち一人ひとりを把握しながら、警察や学校側とも情報交換を行うなど、連携を取りながら活動しています。

### 👉 続けるポイント

活動を通じて、これまで接する機会が少なく疎遠だった若い保護者との接点もでき、高齢者と若い世代の絆も着実に深まっています。子どもたちから「どんな時でも見守っていただくので、安心して通学ができる」との声もあり、うれしく思っています。

当初は、名札だけの着用でしたが、「名札だけだと分かりづらく、子どもに不審者と間違われ誤解を招く」など、寄せられた意見の打開策として、市から黄色のジャンパー等が貸与。このジャンパーは、とてもよく目立つので、犯罪の抑止や交通安全の予防だけでなく、活動の周知にもなっています。

### 👉 広げるポイント

以前あった不審者情報も、この活動を始めてからはなくなりました。通学路のところどころで、こども王国保安官の黄色いジャンパーが見かけられ、犯罪の抑制に繋がっており、成果も現れています。

保安官と子どもたちが交わす挨拶と笑顔、そして黄色いジャンパーで、町中が一段と明るく感じられるようになりました。



## 今後の 課題や抱負

日常生活のリズムの中で無理をしない範囲での活動ですが、いかに意欲的に長く活動できるかが課題です。また、老人クラブ主体のボランティアなので、更なる高齢化は避けられません。もっとたくさんの方に活動を知っていただき、老人クラブに入りたての比較的若い方々にも活動をしてもらえれば、と思っています。「人吉の宝」と呼ばれるよう、また、他団体のお手本となるよう、楽しく長く続けていきたいです。

近年は、本当に子どもが少なくなっていて、寂しく思います。日々子どもたちとあいさつを交わすことで、交流が深まり、保護者から感謝されるなど、新たな“やりがい”につながり、更には、こども王国保安官の活動が他の市民にも広がり、市民みんなで行う“子どもたちをやさしく見守るまちづくり”につながっていけばと考えています。

